

やくしよく 勝海舟の役職

海舟は、咸臨丸でアメリカに行く前後は海軍を作るための仕事をし、明治維新(江戸時代から明治時代)に変わる間の大きな動き)頃からは決まった役職には長くはつかず、少し離れたところから国の政治を確認していた。

《江戸時代》

●軍艦奉行

海軍を強くして外国に対抗する力をつけるために何をすれば良いか考えて動く、江戸幕府内の役職。江戸幕府の軍艦を造ることや、新しく買うことを決める。また、日本海軍で活躍する技術者を育てることをまかされたり、海軍局(海軍の仕事をする所)の指揮もしていた。

海舟は1864年に軍艦奉行になったが、政治に対する考え方が幕府と違っていたこと等から一度辞めさせられた。その後、1866年に幕府からもう一度任命された。

《明治維新後》

●海軍卿

海軍省の長官 → 一番えらい！！

海軍に関することを取りまとめる役割。軍人の仕事や、軍の指揮など、海軍の中のことを決めていた。初代の海軍卿。

●元老院議官

元老院という立法機関(法律を作る機関)にいる議員。明治時代に帝国議会という立法機関ができるまで、日本の法律を作っていた。

●枢密顧問官

枢密院という、国の政治に対する天皇からの質問に答える機関にいる役人。

さまざまな立場たちばにいた海舟だが、
多くの役職おおを、すぐにやめてしまっていた。



政府せいふの政治せいじには直接ちよくせつかか関わることなく、「ご意見番いけんばん」として
政治よや世なかの中の流れながをチェックしていた。

海舟がどんな仕事わをしていたのか分わかったかな？